

8億円 11対3で 可決 000万円 全員賛成で 可決



にぎわった「フルーツ王国夢まつり」

(報告) 株式会社 セラアグリパーク 第7期営業報告及 び第8期予算

法の定めによる報告に、「多くの質疑は必要ないのでは」といった声も聞かれる。一方でセラアグリパークの施設は町が整備してお

り、資本金の51%は町が出資している。加えて「観光の町・世羅」の基幹施設でもある。さらに原料のブドウ生産には、農業振興の一翼として、補助金を出して推進している。

こうした側面から見れば、セラアグリパークの早期の安定経営は

H21年第3回定例会は、9月7日から25日までの会期で行った。今定例会では、H20年度決算認定（一般会計、特別会計、企業会計の合計10件は、決算審査特別委員会へ付託）など、全30件が提出された。また会期中に大型連休があるなど、厳しい日程のなか、「安全・安心の町づくり」と「均衡ある町づくり」を目指して論戦の末、全てを原案どおり可決した。一方では、克服すべき課題も見えた定例会となった。また一般質問は7日～8日にかけて、14人の議員が31項目にわたって、政策と執行方針を質した。（質問と答弁は8頁～15頁）

町の財政ひいては町勢への影響が大きいだけに質疑が相次いだ。

生活関連の条例 改正

生活に直接関連する世羅町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例では、大字上津田の一部を新たに給水区域とし、利用可能な範囲を拡大する改正を行った。

また世羅町国民健康保険条例では、出産育児一時金を35万円から39万円に増額することとした。ただしこれは、国保加入者が、H23年3月31日までの間に出産された場合に限られる。

その他の議案

コミュニティ施設の白梅会館を、地元コミュニティ推進協議会へ無償で譲渡するため、世羅町コミュニティ施設設置及び管理に関する条例から削除する改正を行った。

農業関連では、農業施設の簡易な整備を行う予算を、第3回臨時会で可決している。これの実施にあたり、負担金を30%以内とすることと定めた。

防災面では、消防ポンプ自動車の購入を決めた。



今年のワイン醸造中

補正予算

学校施設整備費など 災害復旧費など 1億6,

補正予算

一般会計では、学校施設の耐震診断結果と小学校統合を控えての施設整備を中心に、約8億円の増額補正（第4号）が9日に、7月豪雨災害の復旧事業費1億6千万円余の増額補正（第5号）が25日にそれぞれ提出された。

学校施設の整備に関して耐震強度不足について学校統合準備室長は「ただちに倒壊するというものではない。大地震では恐れがあるというもの。統合までに順次整備する」と答弁をにこした。一方閉校となる施設の利活用や設備について「事業執行の前提には財源の確保が必要である。」と具体的答弁をさけた。

7月豪雨災害に関して町民が安心して、安全に生活できるため、

早期に復旧することが望まれる。一方で今回は、国、県の制度が活用できるものだけとなっている。制度に乗れない小規模の災害対応が求められる。これに対し、町道、町河川は維持予算で可能な限り対応するとしたものの、その他は財源的に困難との答弁にとどまった。また水路や農林道など地域財産の地元負担で、受益者の範囲、按分方法など、わかりやすい仕組みが問われた。

「それぞれの地域には地域の事情があるのは知っている。しかし、災害復旧の側面で、町は関与しにくい」旨の答弁だった。

中心部と周辺部、災害程度の大・小を問わず安心・安全を均衡に保障する仕組みが求められる。

人事

○人権擁護委員の任期が満了となるため次の二名を適任とした。

中 住 薫 壮 氏（大字伊尾）
森 義 信 氏（大字安田）

○固定資産評価審査委員の任期が満了となるため次の方の選任に同意した。

本 郷 啓 子 氏（大字小国）



県内外からの車でいっぱい